ナイスの視線で、日常の楽しみをお届けする、西成発の地域情報誌 2024

Take free!

なび

5月号
vol. 207

「おやこ鯉のぼり」
制作：I・Tさん

特集 障老病生の物語

at Nishinari
from Nishinari

西成で/から…➡13♥

第一回 罪を犯してしまったある男性の物語

障老病生の物語

at Nishinari
from Nishinari

西成で/から…➡13♥

第一回　罪を犯してしまったある男性の物語

「障老病生（しょうろうびょうしょう）」とは、仏教の「生老病死」をもじって、「障害を持つこと」「老いること」「病気になること」「人と違った人生を生きること」を意味する造語です。
本人もその周りの人たちも、とまどいや不安など、いろんな気持ちを抱きながら、一人ひとりの物語を紡いでいます。その物語に寄り添いながら、「福祉って？」「幸せって？」「地域って？」など、みなさんと一緒に考えていければと思います。
※サブタイトルの意味は、最終回に…

はじめに

さて、障老病生（しょうろうびょうしょう）の物語、第一回目の今回は、触法障害者の物語です。

「触法障害者って?」と思われる方も少なくないかもしれませんが、簡単にいってしまえば、罪を犯してしまった障害のある人のことです。

西成区の北西部で活動している私たち社会福祉法人ヒューマンライツ福祉協会では、現在、約10名の触法障害者の支援を試行錯誤しながら行っています。それぞれの物語に寄り添うことで、考えたことについて書いていきたいと思います。

夢はお笑い芸人

「年末に刑務所を出所する人がいるのですが、身元引受人もお金もありません。相談にのっていただけませんか?」。刑務所からこんな電話があったのはその年の11月中旬頃。ここからこの方とのかかわりが始まりました。

この方（Aさん）は、九州のとある都市のご出身。中学生のころ、お笑い芸人を目指し、その道の師匠に弟子入り。住み込みで下働きをしていましたが、同時に二つ以上の用事をすることが苦手で、兄弟子から「どんくさい!」と怒られることもしばしば。3年で破門になってしまいました。

その後は、親の仕事を手伝ったり、アルバイトを転々としたり…。そして、親から相続した飲食店を経営しますがうまくいかず、貯金を取り崩しての生活。

「お金がなくなったらどうしよう…」と不安感が高まると、コンビニやスーパーなどで、おにぎりや缶コーヒーなどを万引きするようになりました。それを何度も繰り返すうちにとうとう警察に逮捕され、執行猶予期間中に再犯し、刑務所に行くことになりました。

ところが、刑務所の中でも集団行動になじめなかったり、刑務作業がうまくできなかったりなど、「これは何かあるかも…?」ということで医者の診断を受けると、知的障害があることがわかったため、私たちとつながったわけです。

何で加害者の支援をするの？

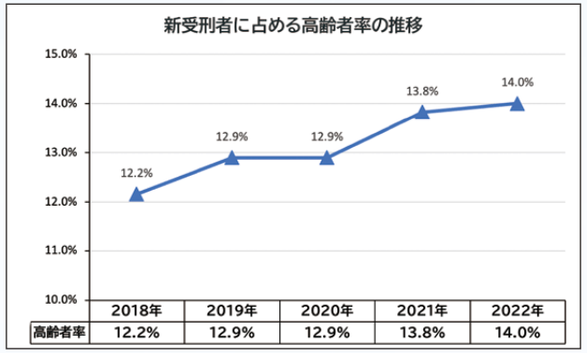
はじめてAさんに会ったのが11月下旬、約1か月で出所ですのでいろいろ大変です。家探しから始まって、「生活費は？ 家財道具は？ 仕事は？」などなど、年末年始も挟みますし、あわただしく時間が過ぎていきました。

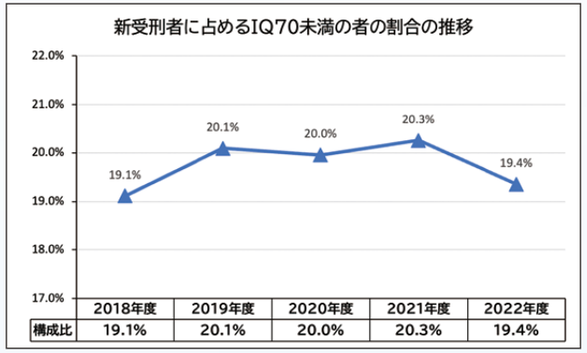
それに何より、Aさんとの信頼関係を築いていかないといけません。自分の言いたいことをずーっとしゃべってこちらの話を聞いてくれないし、待ち合わせなどの予定の変更に対応できないし、お金もあるだけすべて使ってしまう。最初は本当にどうなるかと思っていました。

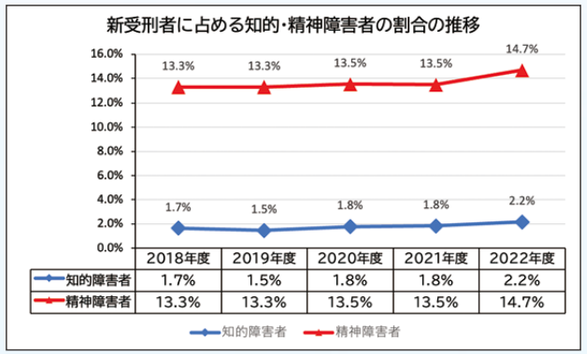
とはいえ、住まいもいったんは障害者のグループホームに決まり、生活保護の申請をして、昼間通う場所のめどがついてくると、Aさんも安心したのか少しずつ関係ができてきました。Aさんが話したいことを全部話してもらってからこちらの話をするとちゃんと聞いてくれるようになったり、急な予定変更は苦手でも、前もって伝えておけば飲み込めたり、お金も1日分ずつ渡していたのが1週間でもやりくりができるようになってきました。何より、あれだけ繰り返していた万引きは、出所後一度もしていません。

このことは、相談員との信頼構築もさることながら、グループホームのスタッフや他の入居者、昼間通っている作業所の同僚など、Aさんのことを受け入れて、気にかけてくれるつながりができたことが大きいのではないかと思っています。

Aさんのこれからの夢は、グループホームを出て一人暮らしをすること。休日は電車に乗って遠くへ行き、バードウォッチングをすること。それと、やはり、お笑いの芸







を磨いて、一度は舞台に立ちたいと練習に励んでいます。何より、あれだけ繰り返していた万引きは、出所後一度もしていません。

万引きは確かによくないことです。だからといって、刑務所に入ることだけで、Aさんの問題が一件落着したと考えてよいのでしょうか？ また、刑務所に入る前に誰かがAさんの障害に気づいていれば、違った物語があったかもしれません。

約2人に1人は支援が必要！

みなさんは、刑務所の状況について、どの程度ご存じでしょうか？ テレビやニュースの情報がほとんどで、よくわからないという方が多いのではないでしょうか。ここでは、2022年度版『矯正統計年報』から刑務所の一面をお伝えします。

これによると、2022年度に新たに刑務所に入った人は、全体で1万4500人。そのうち、65歳以上の高齢者が2000人で14・0％、IQ相当値70未満の軽度を含む知的障害者が2800人で19・4％、精神障害者が2100人で14・1％となっています。重複している可能性はありますが、これを単純に合計すると、6900人、48・1％となり、新しく刑務所に入った人のうち、約2人に1人は高齢者か障害者ということになります。

なぜ、このようなことになっているのでしょう。まず考えられることは、刑務所は入所を拒否できない施設ですので、セーフティネットで支えきれなくなった人や地域・社会で居場所をなくした人の受け皿になっていることが考えられます。

次に、日本の犯罪者の約8割は、罰金や不起訴等で裁判を受けることなく社会復帰していますが、この8割に入るためには、示談や罰金を払える経済力があったり、謝罪や説明ができるコミュニケーション能力があったり、身元引受人を確保できるつながりが必要です。こうした条件を満たすことが難しいAさんのような方は実刑となり刑務所に入ることになると考えられます。

また、Aさんのように、おにぎりや缶コーヒーなど、1回の万引きの金額は数百円であっても、何度も繰り返していることで刑罰が重たくなる累犯荷重という法律にも要因があると考えられます。

最後に、司法と福祉の連携不足が考えられます。裁判官や検察官、弁護士や刑務官など司法にかかわる人は障害者や高齢者など福祉に関する教育を果たしてどの程度受けているのでしょうか？ 反対に、福祉の関係者は、触法障害者を自分たちの支援の対象としてどの程度認識しているのでしょうか？

こうしたことから、触法障害者は、刑務所に入ったことでさらに社会とのつながりが弱まり、出所後の出口支援がなければ、また刑務所に戻ってしまうという悪循環が生じるのではないでしょうか？

つながり×居場所 ⇒ 再犯率の低下…

私たちがかかわっている方は、主に窃盗が多いですが、これまでの取り組みの中で、再犯の防止や地域で安心して暮らすために必要なものは、つながりと居場所だと思うようになってきました。

つながりとは、一人の人と深くつながるだけでなく、いろいろな人と細く長くつながること。また、いかにも福祉施設という居場所ではなく、誰もがいつでも自由に出入りできる地域に溶け込んだ居場所があればなおよいです。現在の制度では、障害者手帳が必要だったりするものが多く、このような居場所を提供できる制度がありませんので、いつか地域でも創りたいと思います。

そして、何より、最も必要なものは、私たち一人ひとりが、罪を犯した人も同じ人間だと捉えることかもしれません。

これからも障老病生の物語に寄り添いながら、一人ひとりが幸せになれるように、試行錯誤を続けていきたいと思います。

おわりに

いかがでしたでしょうか？

はじめまして。屋代直信と申します。難病により十数年前よりほぼ全盲。趣味は登山と食べ歩き。こんな私でも、部長として責任を持たせてくれているヒューマンライツ福祉協会は、ちょっと変わったおもしろい法人です。次回の障老病生の物語にもお付き合いいただければありがたいです。

文責：(社福)ヒューマンライツ福祉協会
法人本部　屋代直信

にしなりもん

食いだおれの街・大阪ミナミのさらに南の街・西成。
まだまだ発掘されていない「にしなりもん」を味わい尽くします。

「甘い」スイーツのお店に感激「YOGI」

気温の変化や新年度の疲れ、環境の変化によるストレスが溜まっていわゆる5月病になりがちな今日この頃。

そんなお疲れ状態の時に食べたくなるものと言えば、甘くておいしい「スイーツ」だ。というわけで、今回は花園町駅の近くにあるクロッフルのお店「YOGI」を訪問。

さて、ここで「クロッフルとは何？」と思った読者は流行に乗り遅れないようにご一読あれ。クロッフルは2020年頃から韓国で話題になった新感覚スイーツ！ 簡単に言うとワッフル型をしたクロワッサン。SNSでも投稿が多く、「ハイブリッドスイーツ」「スイーツ界の超新星」など様々な呼び名がついている。もちろん筆者も今回取材をして初めて知ったのでご存じなかった方はご安心を。

白を基調としたおしゃれな雰囲気のお店を切り盛りされるご夫婦は、笑顔を絶やさずにお話をしてくれて、とてもフレンドリー。席は2人がけのテーブル席が6つ、椅子の下にちゃんと荷物入れがあり、こういった気配りが嬉しい。訪問時は赤ちゃんを連れたママがお茶をしていたりと和やかな雰囲気。

ここでメニューを拝見、いろんな種類があって、ハーフサイズとダブルサイズ、さらにクロッフルクリームはクロッフルの上にチョコやフルーツなどを乗せたもの。今回はテイクアウトもするので、クロッフルクリームの中からクッキークリームやヌテラチョコなど6種類をオーダー。

お味のほうは、「バターたっぷりクロワッサン生地を使ったワッフルです」というお店の方の言葉のとおり、とても濃厚な甘さ。筆者はいちごが乗ったフルーツを食べたが、その甘さといちごが合わさってとても美味しい！ 鼻や口の周りをクリームだらけにしながらあっという間に完食。筆者の感想だけでなく、テイクアウトを食べた10代女性も、「甘さも大きさもちょうどよくとってもおいしい！ 今度自分でも買いに行こうと思います」とのことで大絶賛。子どもへのお土産、職場でみんなにおすそ分けなど、お持ち帰りすれば羨望のまなざしを受けること間違いなし。

YOGIは西宮で最初OPENした後、地元でやりたいというパートナーの思いから現在はこの花園町と阿倍野にお店がある。YOGIは韓国語で「ここ」という意味。まさしく地元の「ここ」でおいしいクロッフルを提供してくれている。花園町店はOPENして約2年だが、今後ブランチはできないかなど、今も試行錯誤してさらに進化中。

当たり前だが、スイーツは甘い。ただ「甘」という漢字は音読みで「カン」、訓読みで「あま(い)」だが、常用外(常用漢字表に示されていない読み方)で「うま(い)」がある。YOGIのクロッフルはそのとおり、ただ甘(あま)いだけでなく"甘(うま)い"のである。そんなみんなを笑顔にする甘くて甘いクロッフルを提供するお店YOGI。ぜひ自分へのご褒美としても訪れてほしい。ドリンクメニューも豊富です。

文責：笹川勝正

YOGI 花園町店
住　所：西成区旭1丁目5の8
営業時間：11時～17時
定 休 日：月火水

[笹川勝正] 花粉症の季節が終わりほっと一息。年々ひどくなる症状に、根本的な治療方法はないものかと思い、次回に備えて毎朝ヨーグルトを食べるか思案中。

[沖田一志] 毎年、枝を落とすのが大変だったので自宅に生えてた樫の木を根元で切った。15年ほど前に子どもが大泉緑地で拾ってきたドングリが育った木だった。ちょっと寂しい気持ちもある。

[谷口円] 20年ぶりくらいにプリクラを撮ったら、20年前の時点よりも若いレベルに顔が加工されてて、なんというかスゴかったです。あれに慣れてしまうと現実に向き合えなくなりそう…。

[田岡秀朋] 法定雇用率2.5%達成への動きのなかで、雇用率ビジネスが俎上に上がっている。労働って何？ 直接雇用だけが働く場づくり？ 改めて考えなくちゃ。

melody of Smiles

今春も新しい制服を着たお友達がGCC Kidsに入園してきました。入園式では先生たちが楽しい手遊びやダンスで子どもたちを大歓迎！ 子どもたちもノリノリでした。これから始まる園生活にドキドキワクワク。園内に響きわたる元気な声をとても楽しみにしています！

GCC Kids International School

大阪市の住民参加型地域組織「地域活動協議会」の活動に橋を架けよう「近ツ橋【ちかつきょう】」

近ツ橋

ふれあい喫茶の裏側

毎週第3火曜日は、長橋地活協の「ふれあい喫茶さくら」。100名を超えるお客さんのための仕込みは大変そうだ。今回はその裏側を取材した。

4月のメニューはたけのこ御飯である。具材の厚揚げやちくわ、人参などを切るだけでも大変だが、何より大変なのがたけのこの灰汁抜き作業だ。「灰汁は悪」なんて言葉を聞くが、これをしないとえぐみが取れず、おいしくない。大きな鍋を二つ用意し、大量の水に米ぬかを投入し、小まめに灰汁を取っていく。

この日の仕込みは13時から始めて終わったのが17時。翌日9時に集まったボランティアの皆さんは口々に「来たばっかりやのにしんどいわ」。昨日の疲れが残っているみたい。

でも、喫茶がオープンすると笑顔で接客し、終わる頃には「今日もよーさん来てくれたな～」と笑顔で乾杯。おいしい料理を食べてもらいたいという気持ちが最高の調味料なのだ。

ふれあい喫茶さくら
毎月第3火曜日
11時30分～13時
にしなり隣保館ゆ～とあい
（西成区出城2の5の9）
※限定100食

[西田吉志]コロナ以降、しばらく休止状態になっていた「ゆ～とあい」1階のコミュニティスペース（喫茶なび）を今年度は復活させたい。改めて地域や住民にとって価値のあるスペースとは何かを考えていく。

些事争論

些事でも何でも気になったらあれこれ考えてみよう。いいこと思いつくかもしれないし。気づいたら西成にたどり着いていた、或るオタクのお気軽系コラム。

『ITリテラシー』

最近よく耳にする「ITリテラシー」という言葉、調べると「通信・ネットワーク・セキュリティーなどのITに関する要素を理解する力、さらに情報技術を操作して活用する能力」とある。現代社会では調べものにはインターネット、娯楽にはサブスクリプション、友だちづくりや恋人づくりにはSNSを活用するなど、現代人とは切っても切れない便利なものである。逆に、ITリテラシーが十分でない場合は非常に不便な社会であるとも言える。

コロナが流行していた2020～2022年あたりを思い出してほしい。この期間は人と人とが顔を合わせることが仕事でもプライベートでも極端に制限されていた。多くの企業で出勤の代わりにリモートワークが、打ち合わせにはZoomが、資料はメールやクラウドストレージでの共有が求められるようになった。決して難しくないが慣れていないために、こういった作業に四苦八苦した方も多いのではないだろうか。

そして企業だけでなく、個人で商売をしている方にもITリテラシーが求められた。ピンと来た人もいるだろうが、コロナ蔓延防止のために飲食店などの店舗に求めた休業の補償として行政が用意した「持続化給付金」や「一時休業支援金」の申請である。これらの制度はインターネットからの申請が主となっており、「メールアドレス？ ID？ PDF添付？ なんのこっちゃ。」状態の人が多くいた。郵送での対応もあるにはあったが、元々時間がかかる申請がさらに遅くなり、一刻を争う事業者にとっては死活問題であった。ITを十分に活用できない人は仕事にならない、活用できるはずの制度が利用できないなどの問題が多く発生した。

また、みなさんのプライベートでも同じようなことが起こったのではないだろうか。お店はどこも休業状態、遊びに出かけることが悪いことであるような風潮で、友人にも会えなかった人は多いだろう。この時に活躍したのがSNSだ。SNSを通じて世界中の人と繋がる、飲み会をしたいときはスマホのカメラをオンにしてオンライン飲み会をすることで孤独感を解消できた。しかし、これらを活用できない人は孤独感が増していったのではないだろうか。

ITリテラシーには、インターネットやSNSを使いこなす力だけでなく、ネットワークやセキュリティ、モラルに関する知識を理解して活用する力も含まれている。SNSで発信を続ける限りは常に「炎上」というリスクを背負っていて、何気なく投稿したものが火種になってしまったりする。こういったリスクを無くすには、投稿する前に冷静になってもう一度文面を読み返す力が必要になる。

現代社会に生きる我々にとって、ITリテラシーはもはや必須といえる。だからこそ、多くの人が気軽にITに触れる機会や学習の場を提供することが、暮らしやすい社会の一歩になるだろう。

ハンプティ・T

[安田拓也]教会音楽を伝える演奏家と「平和な時代の野武士たち」と呼ばれた建築家の対談。音楽と建築はともに緻密に計算された構造物。格式から生まれた音楽を守り弾く人とそこにデザインで導線を引く人。惹きつけられる。

[福井龍磨]オカリナの練習を始めた。陶器の感触が手に心地よく、音色も素朴で温かい。土笛の歴史は古く、日本では縄文時代には既に作られていた。演奏していて心が落ち着くのは古代の音だからか。

葉っぱの吐見（といき）

私は草木が大好きです。とくに観葉植物には心癒されます。私と葉っぱとのお喋りを聞いてください。

「タンポポの葉っぱ」の巻

私のパートナーは早起きが大好き。
いっしょに朝陽をあびて
グーンと背伸びした。

私のパートナーは昼寝がお得意。
いっしょに涼風をうけて
スヤスヤ夢のなか。

私のパートナーは闇夜が大きらい。
いっしょに夜空を見上げて
シクシク泣く姿。

綿帽子になったパートナー。
フワフワ高く舞い上がる。

両手いっぱい広げた私。
バイバイまたねと手をふった。

赤井まゆみ

タンポポのこと

キク科タンポポ属。
多年生で代表的な野草。
花言葉は
「幸せ」「真心の愛」

皮算用 胸算用

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちで皮算用していることを語っていくよ。

ある大学の入学式で、新入生にむけた理事長の祝辞が物議を醸している。この理事長は、入学式の一週間前に、例の裏金問題で自民党の勧告を受けて離党した参院議員である。その彼が祝辞の中で「変化の激しい社会における自分の立ち位置をしっかり把握してもらって、立派な社会人として大学を巣立っていただきたい」と述べたが、それを聞いて思わず「あんたが言うな！」と突っ込んでしまった。

大学生活の門出で、大学の教育理念を実践できていない理事長に、訓示された新入生や保護者はどんな心境だったのだろう。自身の立ち位置もしっかり把握して、納税もしっかりお願いしたいものです。

（寺本良弘）

いい湯かげん

エルズカレッジ10周年

㈱ナイスが参画する障がい者雇用の事業協同組合エルチャレンジが、「エルズカレッジおおさか」（以下、「エルカレ」）という「知的障がい者の大学」を創設して、4月で10周年を迎えた。創設の折、エルチャレンジの小尾隆一理事（大阪手をつなぐ育成会）が「道なき道を拓く」と評したのが記憶に残っている。また、最近のソーシャルファームの会合で炭谷茂全国済生会理事長（元厚生労働省社会援護局長）は、「福祉以外の方法で福祉を興す、ここが重要」と評された。いずれも言い得て妙で、㈱ナイスにとって社会的企業戦略の一つが、このエルカレだった。

エルカレは、エルチャレンジの丸尾亮好事務局長と支援学校長から転じた辻行雄前校長が「道を拓きたい」と意気投合したことから発案された。運動や事業の始まりはいつも「気づき」だが、「大学」という発案はとんでもなく斬新だった。

エルカレは厚労省の障害福祉サービス事業の助成を受けてスタートした。最大の課題だった校舎の確保は、Aダッシュワーク創造館（高見一夫館長）の新しい就労支援構想と合致し、土地所有者である大阪市の了解も得られて、Aダッシュワーク創造館に学校に相応しい環境を得た。

こうして、2015年4月にエルズカレッジが開学した。反響は大きく問い合わせが殺到した。その教育内容の特徴は、「多面的なプログラム」を配置して、学校教育に準じた「体験的な学び」を重視したことだった。その結果、10年で修了生47名と卒業生55名の計102名を社会に送り出した。この間のエルカレには、「高等部の先の教育」に関心を寄せていた文科省も注目し、2018年には文部科学省委託事業「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」が予算化された。そしてこの4月、10年務められた辻前校長から西成高校教頭と福井高校学校長を歴任された内田正俊新校長にバトンタッチされた。

さて、これからのエルカレは、①コース制などにより選択肢を広げた教育内容、②入学生を「障がい手帳を持たない困難者」へも広げたい、③優秀な教育人材を継続的に確保すること、④大阪市との土地借用契約（2030年）を延長して持続可能な学校にすることなど課題を抱えている。いずれもなかなか難しい課題だ。

この10年、エルチャレンジとエルズカレッジは、「働く」と「学ぶ」のハイブリッド（複線的）な支援（事業）を展開してきた。社会的企業が障がい者支援（市場）を広げた意義は大きい。他方で、Aダッシュワーク創造館は、各種講座だけでなく、ものづくりのインキュベートや靴の学校の運営にも携わっている。Aダッシュワーク創造館とのコラボレーションで、いわば「学び（職業教育）のソーシャルファーム」になってきた。

こうして、エルズカレッジのネクストステージの10年が始まった。社会的企業を早くから目指してきた㈱ナイスも、初心忘れず、しっかり役割を果たしていきたい。

冨田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。

[若松司]小説家の書く評論は必ずしも理路整然としているわけではなく、ポーンと飛躍していることが間々ある。よくわからんなりにそのグルーヴに酔わされるのが心地よい。度数は強め。

[山村裕太]すごく久しぶりに風邪をひきました。風邪をひいたときは2ℓのポカリを風呂に持ち込み、湯船で汗を出しまくって、ポカリを飲みまくるという訳のわからない治し方をしています。

地域の縁を心でつなぐ

松向寺さんの心の時間

ずいぶん前に「どうせ死んで無になる人生に意味があるのか？」と問われました。若い私は答えに窮しましたが、今なら「死んだ後を無と決めつける愚かさ」を指摘し「人生には意味がある」と答えることでしょう。

仏教説話の「毒矢の喩え」でお釈迦様は死後の世界の有無を問われ、問いに答える代わりに「生老病死の苦しみの原因と解決の道を聞き、今をどのように生きるかが重要」だと説かれています。日本の仏教は「個人」よりも「故人」の救済に重きを置く「葬式仏教」と揶揄されますが、本来の仏教には「虚しく過ごす人生」を「喜びと実り多い人生」に変える力があるのです。

また「人生の意味」を難しく考える必要はありません。大切なものや信じられるものを見つけ「このために生きている」と思えるならば、それが即ち「人生の意味」だからです。家族、仕事、信仰などあらゆるものがその可能性を秘めています。そしてそれが、この世に生まれて本当に良かったと思える人生を歩むための原動力になるのです。

松向寺　通法

写真は人生の一部が映ったもの。ここは思い出や自慢の1枚を少しご紹介するコーナーです。

ワタシの1枚

『そして誰もいなかった』

日本三大史跡 平城京跡 朱雀門ひろばのひとコマ。土曜のお昼だというのに、僕と次男で貸切状態。こんな贅沢な体験はもうないやろなぁ。オミクロン株がもたらした第６波も終息と高を括って遊びにいったのだけど…。翌週に陽性。GWはホテルで軟禁状態。退屈に耐えかねていた苦い思い出も。（編集スタッフ 田岡秀朋）

smile ゆ〜とあい
にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆ〜とあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか？お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび 5月号（vol.207）
発行日：2024年 5月 1日（創刊日：2007年 1月 1日）
発行：株式会社ナイス
住所：大阪市西成区長橋 3-6-33
電話：06-6563-1150
E-mail:info@nice.ne.jp
url:https://www.nice.ne.jp/

編集長：西田吉志
編集：沖田一志、笹川勝正、田岡秀朋、福井龍磨、安田拓也、山村裕太、若松司（あいうえお順）
イラスト：hidarimaki、西井亜花梨
デザイン：谷口円

（株）ナイス
ホームページ